

第 5 期鹿児島市地域福祉計画に関連する市の事業等 <令和 5 年度の主な新規・拡充事業等>

○主な特徴等

- ・新規 9 事業、拡充 15 事業（計 24 事業）
- ・全ての「基本目標」において、新規事業又は拡充事業が実施され、特に子ども・子育て世帯向けの施策、障害者向けの施策が図られた。

◆基本目標Ⅰ 地域住民が主役の福祉活動の推進

新規・拡充 決算額(千円) 頁

取組の方向	事業名	種別	決算額(千円)	頁
取組の方向 1 多様な主体が参画する福祉活動の推進	・ チームオレンジ設置運営支援事業 認知症の方やその家族、認知症サポーター等が一体となって、地域における交流や見守り支援等を行う「チームオレンジ」の認定と運営支援を行った。	新規	6,160	P1
	・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業 精神障害者ピアサポーターを養成し、長期入院精神障害者の地域移行の推進、精神障害についての正しい知識の普及啓発を図った。	拡充	3,960	P2
取組の方向 3 住民同士が出会い・つながるプラットフォームづくり	・ 地域福祉館 Wi-Fi 設置事業 地域福祉館（41 館）に Wi-Fi を設置し、利便性の向上や地域住民同士の交流の促進、福祉活動の積極的な情報発信を図るとともに、避難所機能の充実を図った。	新規	7,015	P8
取組の方向 4 みんなで支え合う安心安全な地域づくり	・ 社会福祉施設避難確保計画運用支援事業 災害時において、洪水浸水想定区域等に立地する高齢者福祉施設や障害者福祉施設等の利用者が迅速に避難できるよう、施設等が作成する避難確保計画の運用支援を行った。	新規	10,326	P11

◆基本目標Ⅱ 相談しやすい体制づくりと福祉サービスの充実

取組の方向 1 誰もが相談しやすい包括的な支援体制の推進	・ 重層的支援体制整備移行準備事業 複雑化・複合化した支援ニーズに、関係機関や地域が連携して対応する重層的支援体制の整備に取り組んだ。	新規	8,954	P13
	・ 地域包括支援センターにおける相談支援 地域の高齢者やその家族の様々な相談に応じる（地域包括支援センター職員を 2 名増員）とともに、関係機関とのネットワークを構築し、必要な支援に結びつける。また、様々な機会を捉えて高齢者の実態や課題の把握に努めた。	拡充	655,020	P14
取組の方向 2 多様な福祉サービスの充実と利用促進	・ 障害福祉サービス給付事業 日常生活を営むのに支障がある障害者（児）等の家庭にホームヘルパーを派遣して、介護・家事等、日常生活の世話及び外出の支援を行った。	拡充	19,096,252	P19
	・ 障害児通所等支援事業 在宅の障害児に対する療育として、児童発達支援や放課後等デイサービス等を提供し、日常生活における基本的な動作の指導、生活能力の向上のために必要な訓練等を行った。	拡充	11,367,130	P20
	・ 日常生活用具給付事業 在宅の重度障害者に日常生活用具を給付（収尿器の対象者の拡充等）した。	拡充	134,340	P20
	・ 成年後見制度利用促進事業 適切な成年後見制度の利用につなげるため、成年後見センターを運営するとともに相談者のプライバシー保護強化のため、相談室の開口部に間仕切を設置した。	拡充	31,094	P20
	・ 地域子育て支援センター事業 センターを 9 箇所に拡充し、地域の子育て家庭に対する子育て支援を行った。	拡充	77,367	P21
	・ 放課後児童健全育成事業 児童クラブを 2 箇所増設し、放課後の適切な遊びと生活の場を提供した。	拡充	1,422,386	P22

取組の方向	事業名	種別	決算額(千円)	頁
取組の方向 1 子どもの未来応援条例推進事業 子どもの未来応援条例の周知・啓発に取り組んだ。	・ 子どもの未来応援条例推進事業 子どもの未来応援条例の周知・啓発に取り組んだ。	新規	3,736	P23
	・ 子育て世帯訪問支援事業 家事・育児等に対して不安・負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を子育て訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを聞くとともに、家事・育児等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等を未然に防いだ。	新規	89	P23
	・ 健康増進計画推進事業 子どもから高齢者まですべての市民が、共に支え合い、すこやかで心豊かに生活できるかごしま市の実現を目指し、市民や関係機関・団体と一体となって市民の健康づくりを推進した。	拡充	1,669	P26
	・ 美しいまちづくり推進事業 市民・事業者及び行政が一体となり、まち美化活動等に係る計画の策定から実施までを協働することにより、市民総参加の美しいまちづくりを推進した。	拡充	12,289	P30
取組の方向 3 孤立させない相談支援体制づくり	・ フレンドシップ（適応指導教室）支援事業 不登校児童生徒等の居場所づくりや相談等を行うとともに、フレンドシップや学校への心のパートナーの派遣回数を増やした。	拡充	52,257	P34

◆基本目標Ⅲ お互いを尊重し合う誰もが暮らしやすい地域づくり

取組の方向 1 人権の尊重と差別・虐待・暴力の防止	・ 多文化共生推進事業 国籍や民族などの異なる人々が互いに文化的ちがいを認め合い、ともに生きていく多文化共生の地域づくりを推進するため、新たに啓発活動や外国人向けの生活情報ポータルアプリの運用を行った。	拡充	5,742	P35
	・ 手話言語及び情報・コミュニケーション条例(仮称)制定事業 障害者への理解促進の気運を醸成し、障害者の生活課題等の解消と、意思疎通支援の充実による共生社会の実現につなげるため、手話言語等に係る条例の制定に取り組んだ。	拡充	524	P35
	・ こどもの日贈り物事業 イベント参加やスポーツ観戦など、様々な経験の機会の提供に取り組む児童養護施設等に対し助成を行い、施設で生活する子どもが夢や希望を抱ききかけづくりを行った。	新規	1,526	P36
取組の方向 2 誰もが暮らしやすい生活環境の整備	・ ヤングケアラー支援事業 ヤングケアラーに対する支援体制の充実を図るため、ヤングケアラー相談支援員を配置するとともに、周知広報を図った。	新規	3,458	P36
	・ こども家庭支援ネットワーク構築事業 「こども家庭センター」の設置にあたり、関係機関で構成する「鹿児島市こども家庭支援ネットワーク会議」を設置し、同センター設置についての意見を聴取した。	新規	247	P37
取組の方向 2 誰もが暮らしやすい生活環境の整備	・ 町内会集会所建築等補助事業 バリアフリー化支援事業と統合し、町内会等のコミュニティ活動の拠点となる集会所の新築、リフォーム、バリアフリー化及び耐震診断に要する経費を助成した。	拡充	20,828	P37
	・ 公共交通不便地対策事業 公共交通不便地 4 地域等における高齢者などの日常生活の交通手段を確保するため、コミュニティバスあいばすや乗合タクシー等を運行したほか、あいばすの認知度向上を目的にポイントラリーを行った。	拡充	189,331	P39